



SUAC

大学概要

2014(平成26)年度

公立大学法人

静岡文化芸術大学

SHIZUOKA UNIVERSITY OF
ART & CULTURE

出会う 感じる 創造する

公立の大学として 更なる社会貢献を

本学は、豊かな人間性と的確な時代認識を持ち、社会の様々な分野で活躍できる人材を養成するとともに、「開かれた大学」として社会の発展に貢献することを目的に、平成12年に開学し、地元産業界をはじめ地域の皆様に支えられ、大学も学生も成長してまいりました。

平成22年に本学は、静岡県が設立する公立大学へと移行しました。開学以来培ってきた独自性と柔軟性のある大学運営を行い、教育・研究の充実を一層推し進めてまいります。

私は若き日の5年間をこの浜松で過ごしました。愛着のあるこの地で、若く伸び盛りの本学を舞台に、社会のニーズに応えられる「知性」と「感性」にあふれる人材を育成し、人間性豊かな社会の実現に向けて、更なる貢献を目指してまいります。

公立大学法人 静岡文化芸術大学 理事長

有馬 朗人 ARIMA Akito

新しい時代の デザインを めざして

今、世界は大きく変わりつつあります。変化の最も大きな要因である情報革命は、単にわれわれの生活を便利にただけではなく、従来にない人と人、人とモノ、モノとモノとの新しい関係を作りだしました。この新しい関係をどのようにデザインするか。ヴィジュアルなデザインはもちろん、国家像、社会、文化など、さまざまなジャンルでの新しいデザイン力とそれを支える思想が求められます。こうした要求に応じて、日本列島の中央に位置し、モノと人間の最も先端的な出会いを創出してきた浜松の地で、これからの日本の文化力を高める人材の育成こそが静岡文化芸術大学の目的です。

自由に明るく、地域との交流を深める中で、実践的に学ぶことが本学の校風です。多彩な教授陣のもと、大いに学び、大いに学生生活を楽しむことを期待しています。

静岡文化芸術大学 学長

熊倉 功夫 KUMAKURA Isao

時代に対応する知性と感性を持った
人材を養成し、社会へ貢献していきます。

私たちはこのような大学を目指します。

実務型の人材を養成する大学

豊かな人間性と的確な時代認識や社会認識を持ち、国際社会の様々な分野で活躍できる人材を養成していきます。

社会に貢献する大学

地域、国際、世代が教育研究の場で幅広く融合する「開かれた大学」として地域社会や国際社会の発展に貢献していきます。

社会に貢献する 大学を目指して。

静岡文化芸術大学のあゆみ

- 平成7年9月 静岡県議会で「新大学整備基本構想」を公表
- 平成9年6月 大学名を「静岡文化芸術大学」と決定
- 平成11年12月 文部大臣より学校法人設立及び大学設置認可
- 平成12年4月 開学
- 平成16年4月 大学院開設
- 平成17年3月 湖西大学校(韓国)と交流協定を締結
- 平成18年4月 デザイン学部「技術造形学科」を「メディア造形学科」に改称
- 平成19年2月 上海工程技術大学(中国)と交流協定を締結
- 平成19年3月 フィンドレー大学(アメリカ)と交流協定を締結
- 平成20年9月 ウェールズ大学トリニティ・セント・デイビッド(イギリス)と交流協定を締結
- 平成21年8月 浙江大学城市学院(中国)と交流協定を締結
- 平成22年4月 私立大学から静岡県立の大学へ移行
公立大学法人設立・学校法人解散
- 平成22年10月 創立10周年記念式典開催
- 平成25年4月 ブルゴーニュ大学国際フランス語センター(フランス)と交流協定を締結
- 平成25年6月 アイルランガ大学人文学部(インドネシア)と交流協定を締結
- 平成26年4月 ポローニャ大学(イタリア)と交流協定を締結

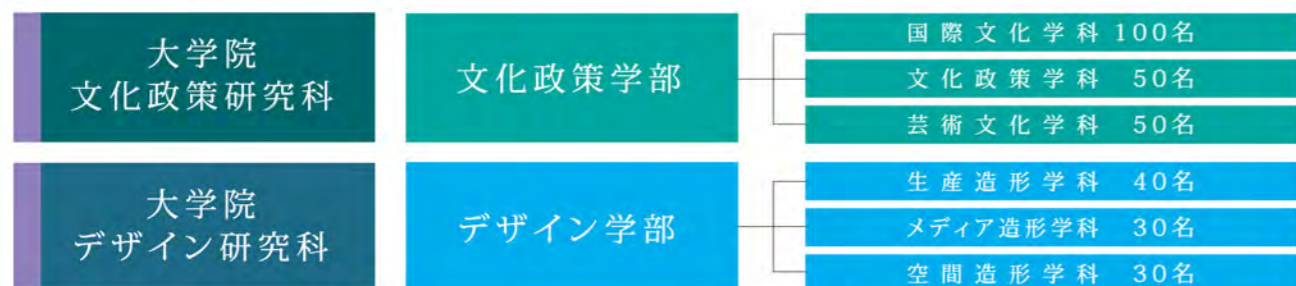


学びの環境

モノづくりと多文化が共生するまち「浜松」の精神が息づく新スタイルの大学です。技術や文化を通し、地域に世界に開かれたまちであるように、本学も「開かれた大学」を目指しています。JR浜松駅から徒歩15分という都市型キャンパスは、「ユニバーサルデザイン」の理念が取り入れられており、充実した施設・設備が整った緑豊かな環境となっています。静岡県が、県を挙げて取り組んでいるユニバーサ

ルデザインの分野では、本学から素晴らしい研究成果も誕生しています。また、全国的にも外国人在住人口が多い浜松市は多文化共生の先進都市であり、言語、習慣、文化の違いを超えて共生するモデル地区としても注目されています。国内外で活躍中のユニークで著名な教授陣が名を連ねており、実践重視の教育方針で「実務型の人材」を育成します。

2学部6学科2研究科構成



学びの特色

2学部の交流

2学部共通の科目が多く設けられています。また、ギャラリーや工房の開放などを通じて文化とデザインの有機的な融合を目指しており、広い視野で新しい価値を産み出していく環境が整っています。

導入教育

1年前期に「大学の理念」「大学で学ぶことの意義」などについて理解し、また、大学生として必要となる論文作成や文献検索などの基礎的能力を養います。3年前期に事業の構想から計画・立案・提案までの事業プロジェクトを体験的に学習し、社会人として必要な基礎的な構想作成能力を養います。

野学(フィールドワーク)の重視

教育の場を学内だけでなく、地域に多彩な産業を擁する静岡県の特性を活かし、企業や公共機関などにおける実習への取り組みについても重視しています。様々な空間における人との出会いが学内だけでは得られない刺激的な経験となっています。

免許・資格の取得支援

教職、学芸員、図書館司書、建築士などの職業免許・資格の取得につながる科目の設定や、就職室主催の就職支援講座など様々な資格取得への支援を行い、学生の将来をしっかりとサポートしています。

日本語教員養成課程

静岡県や浜松市は外国人人口が多く、多文化共生社会の実現に向けた取り組みが盛んです。その実情を知り、地域に根差した日本語教育の在り方について考え、日本語の教え方を実践的に学べる課程を設置しています。「教える」という教授者の視点のみでなく、「共に生き、快適な生活環境について考える」という共生の視点を持って取り組める人材を養成していきます。多文化共生の地域づくり、日本語教育をする力の底上げ、異文化コミュニケーション能力の向上といった「社会ニーズ」、外国人労働者への日本語教育といった「企業ニーズ」、これら2つのニーズに応えた課程です。

英語・中国語教育センター

本学では、英語及び中国語教育の充実・強化を図ることを目的とし、平成25年4月にセンターを設置しました。

国際社会で活躍するためには「実践的な語学力」、「幅広い文化的知識と教養」を身につけておくことが求められています。このため、センターは、現在、3名の英語特任講師と1名の中国語特任講師が常駐し、英語・中国語教育の拠点として、授業以外にも各種イベントやプログラムを提供するなど、英語・中国語教育の充実・強化に向けた取り組みを行っています。

少人数教育

語学や情報処理など、多くの科目で少人数のクラス編成による、教員と学生の対話「コミュニケーション」を重視した教育を行っています。学生の自由な発想をきめ細やかな指導で、しっかりとフォローしています。

社会から求められる実践的な語学・情報処理

情報化、国際化と言われる実社会で生き抜くために、コンピュータやLLを使用した、実践的な語学・情報処理教育を行っています。さらに、英語・中国語教育センターを設置して英語・中国語教育の充実を図っています。

柔軟な学習領域の選択

他学部・他学科の授業科目でも、希望する進路や興味に合うものがあれば履修することが可能です。この場合、10単位を上限に全学共通科目の領域で卒業要件単位に算入できます。また、静岡大学情報学部の科目の一部を履修できる単位互換も実施しています。

地域との連携

地域イベントへの参画、企業からの受託研究、NPOや行政機関との連携や共同活動などを通じて、地域社会の発展と活性化に積極的に貢献していきます。これらの活動は、学生にとって視野を広げる機会ともなっています。



文化政策学部

Faculty of Cultural Policy and Management

既成の枠を越えて、 文化の新たな地平を切り拓く人材を

現在につながる歴史の深みと、世界的な広がりという視点から多角的に文化及び芸術を見つめ、豊かな感受性で、文化の創造・発展に必要な知識を身につけ、さらに文化の新たな地平を切り拓く人材を育成しています。

文化政策学部は、人々が「豊か」だと感じる社会の実現を目指し、いきいきとした社会生活を送るための方法や道筋を見つけ出し、力を持つ人材を輩出することで、社会に貢献していきます。



文化政策学部 学部長

根本敏行

NEMOTO Toshiyuki

都市経営
都市政策

東京大学大学院工学系研究科都市工学修士修了。三菱総合研究所主任研究員、兵庫大学経済情報学部教授、同大学附属研究所所長を経て現職。専門は都市計画、都市・地域経営など。都市における市民セクターとの協働や産業遺産・産業観光などが最近の研究テーマ。

文化政策学部の3学科

文化政策学部では、「国際文化学科」、「文化政策学科」、「芸術文化学科」の3つの学科を設け、社会と文化のかかわりを専門的に学びます。一定の領域を持ちながらも、3つの分野は互いに関係しています。複雑、多様な社会について、専門領域だけでなく周辺領域の知識にも触れながら、広く、深く学んでいきます。

国際文化学科

言語、文学、歴史、人類学、地域研究、多文化共生、日本語教育

地域政策

多文化共生、まちづくり、NGO論

人文学

文学、歴史、文化・芸術

文化政策学科

経営、経済、法律、政治、行政、情報、広告、まちづくり

マネジメント

アート・マネジメント、経営、行政、法律

芸術文化学科

美学・美術史学、演劇史、音楽史、アート・マネジメント、芸術文化政策、文化経済学

国際文化学科

Department of
International Culture

入学定員:100人 学科長:下澤 嶽

異文化を理解し、国際的にコミュニケーションできる 人材を養成します。

国際文化学科では、文学・芸術から政治・経済まで、広範に世界の多様な文化を学びます。異文化を学ぶ上で必要な語学も、7言語の講座が開かれています。世界各地の文化について探究すると同時に、自国の文化について振り返ることは、より深い文化理解を可能とします。あらゆる分野で異文化への理解が要求される現在、本学科では、幅広い文化的教養を身につけ国際的にコミュニケーションできる、知性と感性にあふれた人材を養成します。

取得可能な資格

中学校教諭一種(国語、英語)
高等学校教諭一種(国語、英語)
図書館司書
学校図書館司書教諭
日本語教員養成課程

主な進路

製造業や運輸・通信業の国際部門、商社・卸売業、放送・広告・印刷業、旅行・観光・ホテル業、金融業、流通・小売業、官公庁、教員 など

文化政策学科

Department of
Regional Cultural Policy and Management

入学定員:50人 学科長:森 俊太

政策・経営・情報の視点から新たな人間と 社会のあり方を探究できる人材を養成します。

文化政策学科では、現代社会や地域の特性を踏まえ、文化と政策の接点に焦点をあてて、人々の生活の質と生きがいの向上について学びます。そのために、「政策」「経営」「情報」の視点から問題を多角的に考察し、地域社会と文化、また産業社会と文化のあるべきかたちについて探求します。これらのプログラムを通して、行政やビジネスの現場で役立つ理論と実践的なスキルを身につけ、地域社会や産業社会の活性化に貢献できる専門知識と行動力を持った人材を養成します。

取得可能な資格

中学校教諭一種(社会)
高等学校教諭一種(公民)
図書館司書
学校図書館司書教諭
日本語教員養成課程

主な進路

金融業などの実務部門、製造業や流通業などの総務・広報・企画部門、地方自治体や公益法人、観光・サービス業、マスコミ・広告産業、情報産業・IT関連、教員 など

芸術文化学科

Department of
Art Management

入学定員:50人 学科長:谷川真美

芸術とそれをとりまく社会について理解し、 芸術の持つ力を現代社会で活かすことのできる 人材を養成します。

芸術文化学科では、「文化と芸術」「政策とマネジメント」という2つの主要な柱があり、芸術文化について多角的、学際的に学ぶことができるのが特徴です。「文化と芸術」分野では美学、美術史学、音楽学、演劇学、映画学から古典芸能、最新のマルチメディアまでの諸芸術に関する理論・歴史等の知識を学び、「政策とマネジメント」分野では芸術文化を対象として経営学、経済学、政策学、法学等の社会科学の面から学びます。

取得可能な資格

図書館司書
博物館学芸員
日本語教員養成課程

主な進路

文化会館・ホール(文化財団職員)、博物館・美術館(学芸員)、芸術文化団体、マスコミ・出版業、広告代理店、サービス業、情報産業、地方自治体(公務員) など

デザイン学部

Faculty of Design

ユニバーサルデザインを基本に、 使う人の立場に立った提案を。

人間を見つめ、文化の多様性を視野に入れながら、ユニバーサルデザインの理念のもと、デザインによって誰もが快適に生活できる環境を提案し、地域の発展と文化の向上に貢献するために、生活文化と技術、環境との調和のとれた関係を、美的感覚を持ってつくりあげていくことのできる人材を育てます。また、デザインを通して、人と人、人と技術、人と環境、人と情報とのより良い関係を考え、これからの人間社会に必要な生活文化を創造していくためのデザイン活動に必要な素養を磨いていきます。



デザイン学部 学部長

海野敏夫

UNNO Toshio

構造デザイン
建築構造計画

九州芸術工科大学環境設計学科卒業。松井源吾+ORS事務所を経て独立。2007年10月より本学教員。小住宅から超高層建築まで数多くの建築構造設計に携わり、竣工建物件数は900を超える。安全性はもちろん、美的要素としての構造体追及がライフワーク。

デザイン学部の3学科

デザイン学部では、デザイン分野を3方向からとらえ、「生産造形学科」、「メディア造形学科」、「空間造形学科」の3つの学科を設置しています。各学科では、専門分野に軸足を置きながらも、密接にかかわる他分野の視点にも触れ、多様な発想力を鍛えます。また、「オリジナリティ」の追求とともに、グループワークを通じてコミュニケーション能力を培い、問題解決に必要な能力を身につけていきます。

※デザイン学部の3学科は、2015年4月からデザイン学部デザイン学科1学科となり、5領域を設けてさらに充実したデザイン教育を目指して参ります。

生産造形学科

インタストリアルデザイン
プロダクト(製品)デザイン
インタストリアルグラフィックス
人間 生活 社会 産業 戦略

コミュニケーション

ライフスタイル

デザイン

メディア造形学科

映像・CG
視覚伝達・Web
インタラクション
インタフェース

フューチャー

空間造形学科

都市・ランドスケープ
建築
インテリア

生産造形学科

Department of
Industrial Design

入学定員:40人 学科長:迫 秀樹

よりよい生活から社会システムまでを提案できる デザインの専門人材を養成します。

身近な暮らしや社会の中に問題を発見し、どのようなモノやコトがあれば解決できるかを考えるのがデザインの基本です。本学科では、そのような考えに立脚して、日用品からIT機器、自動車や家具、生活設備など各種製品や、パッケージやビジュアルコミュニケーションなどの企画・設計方法について学びます。また、それらを成り立たせる産業の仕組みや社会システムのデザインにも取り組みます。実践的な教育環境を整えて、社会性をもったデザインの専門人材を養成します。

取得可能な資格

中学校教諭一種(美術)
高等学校教諭一種(美術・工芸)
日本語教員養成課程

主な進路

デザイン事務所(工業デザイン、グラフィックなど)、各種製造業(企画開発・デザイン部門や広報・販売促進部門等)、広告・印刷業、卸・小売業、サービス関連、大学院進学 など

メディア造形学科

Department of
Art and Science

入学定員:30人 学科長:的場ひろし

独創的で、社会・産業に貢献できるデザインを 生み出せる人材を養成します。

コンピューター・テクノロジーの目覚ましい発展に伴い、新しいメカニズムやマルチメディアに立脚する高度なシステムが数多く登場しています。こうした先端的な技術とデザインを融合させた新しい分野を積極的に追求し、「五感に訴え、人を感動させる美しいデザイン」を実現します。未来の我々が使うであろう、まだ見ぬメディアをデザインできる能力と、未来のメディアを使って自在に表現できるアートの発想力を育てます。

取得可能な資格

中学校教諭一種(美術)
高等学校教諭一種(美術・工芸)
日本語教員養成課程

主な進路

デザイン事務所、CG制作・Webデザイン制作、広告・印刷業、製造業等のIT部門、情報関連機器メーカー、玩具・ゲーム機器メーカー、大学院進学 など

空間造形学科

Department of
Space and Architecture

入学定員:30人 学科長:寒竹伸一

住宅から都市まで 空間の本質に迫るデザイナーを養成します。

私達は今、めまぐるしいスピードで変化する社会の中で生きています。しかし、いかに現象の世界が変わろうと、物事の本質は不変のものです。空間造形学科では、「住まう」という人間の基本的な行為に関するあらゆる事象を、優れた事例に学び、表層の変化に惑わされることなく未来の住空間を創造することを目指します。また、様々な設計課題を通して思考の過程を明らかにすることは、住空間のみならず社会そのものをデザインすることに繋がっていくでしょう。

取得可能な資格

中学校教諭一種(美術)、高等学校教諭一種(美術・工芸)、一級建築士試験受験資格(要・実務経験2年)、二級建築士試験受験資格、木造建築士試験受験資格、商業施設士受験資格、インテリアプランナー登録資格個別認定課程、日本語教員養成課程

主な進路

建築設計事務所、デザイン事務所、ハウジング会社、建設・不動産会社、官公庁の都市計画部門、大学院進学 など

大学院

Graduate School

21世紀は「市民」の時代とされています。それは、これからは「政府」「企業」ではなく「市民」が主体となり、自分たちの望む社会を創造していくことを意味しています。大学院では、市民社会のリーダーに必要な、様々な価値観を尊重しつつとりまとめていく、課題解決の能力を養成します。

文化政策研究科

Graduate School of Cultural Policy and Management

文化政策専攻 修士課程(2年)／定員10名

新時代の価値を創出する文化と芸術の政策とマネジメント。

経済的危機の時代であればこそ、文化と芸術は人々の幸福を支え、勇気を与える大きな力となっています。変容著しい現代社会において次々に顕在化する多様な社会的問題を、文化と芸術の視点から見つめなおし、芸術創造や組織運営の仕組みあり方を探究したり、理想的な地域社会実現のための文化政策研究を推進するプロフェッショナルな人材を育成します。



研究科長

片山泰輔

KATAYAMA Taikō

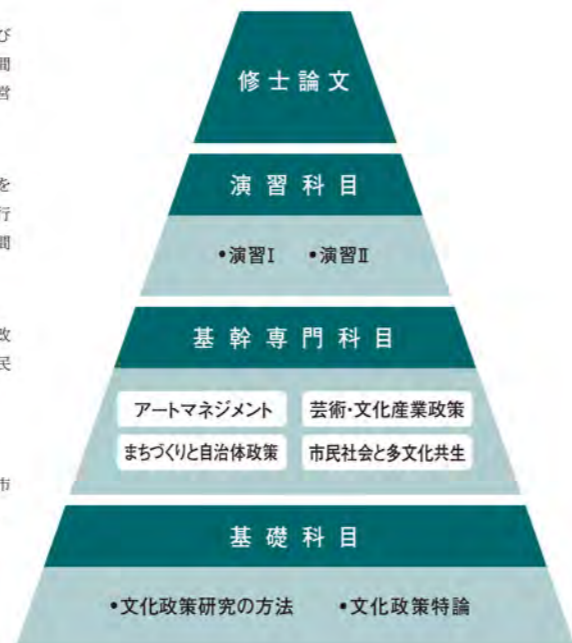
芸術文化政策
財政・公共経済

慶應義塾大学経済学部、東京大学大学院修了。芸術支援の経済学的根拠に関する研究で日本経済政策学会賞(1995)、「アメリカの芸術文化政策」で日本公共政策学会賞(2007)受賞。文化審議会等、国や自治体の委員を歴任。日本文化政策学会設立に尽力、現在同学会副会長。

特色と専門領域

4つの研究専門領域の1つを選んで自らの専門性の軸足として定め、これらを超える領域横断的、学際的なアプローチによって実践的な研究を行います。文理を問わず様々な学部・学科の出身者や社会人、留学生等、多彩な学生が集まる中で相互に刺激しあいながら研究に励んでいます。特に在職中の社会人学生に対しては長期履修制度の活用によって、パートタイムの通学で3年間かけて修士号を取得する道も開かれています。

- アートマネジメント**
Arts Management
楽団、劇団、美術館などの民間非営利芸術団体及び公立文化施設の運営などに関する研究を行う。中間支援組織や文化に関わる様々な非営利団体の運営等も含まれる。
- 芸術・文化産業政策**
Creative Industry Policy
民間非営利芸術団体の支援政策、営利の文化産業を含む創造的産業の振興政策などに関する研究を行う。これらための人材育成、ネットワーク形成、中間支援等も含まれる。
- まちづくりと自治体政策**
Community Building and Local Governance
まちづくりと地域活性化、コミュニティ政策、自治体改革、行政評価などに関する研究を行う。自治体と市民団体、NPO等との連携・協働等も含まれる。
- 市民社会と多文化共生**
Civil Society and Cultural Diversity
多文化共生とまちづくり、コミュニティ運営(NPO、市民活動等)、国際協力NGOなどに関する研究を行う。



デザイン研究科

Graduate School of Design

デザイン専攻 修士課程(2年)／定員10名

社会を見据え、新たなデザインを探究する。

いまデザインは、深く社会にかかわり、美しい問題解決が期待されています。人間や社会、地球環境に対する深い造詣とモノづくりへの情熱をベースに、企画立案能力から実務的設計能力まで、これからのデザインプロフェッショナルに必要な専門知識と応用能力を高め、社会の要請に応える人材を養成していきます。



研究科長

宮田圭介

MIYATA Keisuke

インターフェイス
デザイン

東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。コマツにおいて人間感覚・行動に関する国家プロジェクトに参加しながら、使いやすい機器の研究開発に従事。本学赴任後は各種教育医療機関と連携して、主に特別支援教育向け情報機器のデザイン研究を行っている。

特色と専門領域

高度情報化や高齢化の進展、循環型社会への転換など、大きく変化する時代環境にあって、デザインへの要請は広がりを見せるとともに、幅広い専門能力が求められるようになっていきます。デザイン研究科では、そのような社会的要請に応え、より高度なデザイン人材を養成するために、実践的な領域を設けています。担当教員は本学学部の所属学科や専門の枠を越えて必要な研究指導にあたります。

修士論文 修了制作

特別研究
特論演習 学外実習

特論領域
 •デザインマネジメント
 •ソーシャルデザイン
 •エルゴデザイン
 •地域産業デザイン
 •パッケージデザイン
 •造形デザイン
 •インタストリアルデザイン
 •色彩デザイン
 •映像デザイン
 •CADデザイン
 •インターフェイスデザイン
 •メディアデザイン
 •インタラクションデザイン
 •WEBデザイン
 •都市デザイン
 •ランドスケープデザイン
 •ユニバーサルデザイン
 •建築デザイン
 •構造デザイン

※デザイン研究科において、所定の単位を修得すれば、一級建築士受験資格に定める実務経験2年として認められ、実務経験が不要となります。

国際交流

国際社会に貢献する開かれた大学を目指して。

本学の設置理念である「国際社会に貢献する開かれた大学」の実現に向け、グローバルに活躍できる人材の育成を目指して、海外の大学と交流協定を結び、様々な交流事業を展開しています。

ウェールズ大学トリニティ・セント・デイビッド [イギリス]

留学先となるカマーゼンキャンパスは、南ウェールズに位置します。学生寮はキャンパスの敷地内にあり、教職員も勉強や生活の相談に応じてくれるなど留学生の受け入れシステムは充実しています。2008年に交流協定を締結し、2014年までに17名の留学生が派遣され、語学研修にも多くの学生が参加しました。



フィンドレー大学 [アメリカ合衆国]

オハイオ州にある総合大学で経営学部、教育学部、医療学部、教養学部、薬学部理化学部の6学部から構成されています。学生数は約3,900人で、地域との結びつきが強く、留学生へのサポート体制も充実しています。(留学生は30カ国から来ています。)2007年に交流協定を締結し、2014年までに39名の留学生を派遣しました。



湖西(ホソ)大学校 [大韓民国]

人文学部、社会科学部、自然科学部、工学部、NewIT工学部、芸術能学部、教養・教職学部など各種大学院を擁する総合大学です。外国語教育院を設け、積極的に語学研修生を受け入れています。2006年に交流協定を締結し、2014年までに17名の留学生を派遣。交流セミナーの実施など双方向の交流を進めています。



浙江大學城市学院 [中華人民共和国]

1999年に公設民営の大学として浙江省杭州市に開学。人文学部、外国語学部(日本語学科を含む)、創意(デザイン)学部など9つの学部で構成された学生数13,500人の総合大学です。2009年に交流協定を締結し、2014年までに9名の留学生を受け入れ、4名の本学学生を派遣しました。



上海工程技術大学 [中華人民共和国]

芸術設計学院、材料工程学院、電子電気工程学院、化学化工学院等、19の学院(学部)があり、学生数約12,000人の総合大学です。交流の中心である芸術設計学院では、学生の作品が上海万博のポスターに採用されるなど、活発な制作活動が行われています。毎年、共同セミナーを実施して交流を進めています。



ブルゴーニュ大学 [フランス]

1722年創立、フランスのブルゴーニュ地方に5つのキャンパスを持つ国立総合大学で、学生数27,000人を数えます。国際フランス語センターはディジョン市のメインキャンパス内にある大学の学部に対応する一機間で、本学は2011年から語学研修への学生派遣を行い、2013年に交流協定を締結しました。



アイルランガ大学 [インドネシア]

1954年にインドネシア第2の都市スラバヤに設立された国立総合大学。人文学部には2006年に日本研究学科が開設され、4学年あわせて200人を超える学生が日本文化を学んでいます。本学からの留学生には単位認定がされます。2013年に交流協定を締結し、8月には本学から語学研修への学生派遣が予定されています。



ボローニャ大学 [イタリア]

1088年の創立で「世界最古の大学」とも言われており、建築学部以外はすべての専門を擁する国立の総合大学です。イタリアのエミリア・ロマーニャ州の州都であるボローニャ市にあり、在籍学生数は8万人を超えています。アートマネジメント研究の分野においては、総合芸術学科(通称ダムス DAMS、1970年創立)は先進的研究拠点となっています。2014年に交流協定を締結したばかりで、今後の留学生等の交流が期待されています。



留学しても4年間で卒業が可能

「ウェールズ大学トリニティ・セント・デイビッド」「フィンドレー大学」「湖西大学校」「浙江大學城市学院」については留学生を派遣しています。これらの大学への留学期間は本学の在学期間として認められ、取得した単位も審査を経て本学での卒業要件単位として認定されるため、留学しても4年間で卒業することが可能です。

また、2014年からは「フランス・ブルゴーニュ大学国際フランス語センター」、「インドネシア・アイルランガ大学人文学部」へも留学生の派遣を予定しています。

特徴的な教育・研究活動

社会とのかかわりの中で学ぶ。

すべての人がそれぞれの違いを認めあい、尊重しあえる心地よい社会を築くために、未来へ向けて、豊かな社会づくりと発展に貢献できる研究・教育活動を展開しています。さまざまな実践的取り組みを通してより深い学びが可能になります。

ユニバーサルデザイン

年齢、性別、身体能力、言語など人々が持つ様々な特性や違いを越えて、すべての人が利用しやすいものづくり、まちづくりや社会づくりを行うこと。SUACでは、これからの社会に欠くことのできないこのユニバーサルデザインの基礎概念を、文化政策・デザインの両学部で学ぶことができます。大学施設にもユニバーサルデザインが各所に取り入れられており、実際に利用し、体感することでさまざまなことを吸収できます。身体が不自由な方々のための自助具デザインプロジェクトやユニバーサルデザイン関連コンペへの参加・受賞など、学生たちの自主的な活動も盛んです。



多文化共生

さまざまな国籍、多様な民族の人々がお互いの文化の違いを認め合い、対等な関係をめざしていくことが多文化共生の理念。教育面では、講義で学ぶだけでなく、実際に外国籍の児童・生徒の学習支援事業など実践的な活動も行い、多文化共生社会の実現をめざしています。また、日本語教員養成課程を設置し、地域や企業の中で異なる文化的背景を持つ人同士が共存する手助けができる人材を育成しています。地域貢献面では、地域社会と連携し、行政・教育分野の政策立案などを通して、地域に貢献しています。これらの活動では学生がボランティアとして、時には中心的な立場で運営に参加しています。外国籍の人々が多く暮らす浜松は多文化共生を学ぶ有意義な場なのです。



ブラジル人学校と本学のコラボレーションによる授業の光景です。アクティビティーを通して、日本語を教えています。

アートマネジメント

アートマネジメントというと音楽会や展覧会等の事業を企画運営することだと捉えている人も多いかもしれませんが、本来はもっと広い意味での「マネジメント」を指します。アートマネジメントとは、これらの事業を継続的に実施する組織、すなわち楽団や劇団、ホールや劇場、美術館等の運営のことを指します。しかも、それを営利目的ではなく、公益的な目的のために行う、非営利組織のマネジメントであるというのが特徴です。開学以来、アートマネジメント教育に力を入れてきたSUACには、多数の社会科学系教員が在籍し、音楽、美術、演劇などの多彩な芸術系教員と連携して学びの場を提供してきました。そして、学部、大学院ともにアートマネジメント教育の国際組織である芸術経営教育者協会(AAAE)の正会員として国際的な基準にそったカリキュラムを提供してきています。卒業生、修了生は全国の文化施設等、アートマネジメントの現場で活躍しています。研究機関としても、日本アートマネジメント学会の関東支部の事務所を務め、全国大会を開催するなど、日本における拠点の一つとして実績を積み重ねてきています。



日本アートマネジメント学会



Flying Doctor

キャンパス案内

Campus Guide

21世紀の新しい大学像を実現した、
文化・芸術の発信地となる個性的なキャンパス。

施設の特徴

ユニバーサルデザインの理念をもとに設計されています。外観デザインには山の尾根や水の流れ、波のうねりを感じさせる緩やかな起伏を取り入れており、市民が利用可能な図書館・情報センター、自由創造工房、緑溢れる中庭「出会いの広場」や屋上「創造の丘」を設けています。

環境対策

建物の屋上を緑化することで、夏季・冬季の空調負荷の軽減に努めています。また、地下ピットに雨水を貯め、雑用水に利用しているほか、太陽光発電を池の循環ポンプの電源などに利用して省エネルギーを図っています。

UNIVERSAL DESIGN

ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインとは、年齢や性別、文化・言語の違い、能力の如何にかかわらず、すべての人が利用できるようにモノや空間をデザインするという考えです。これまでの多くの道具や建築物は、平均的な人が使いやすいようにデザインされており、そうでない人には利用できなかったり、過度の負担を強いたりしていました。これからの道具や建築物には、あらかじめ多様な人々の利用を想定し、アクセスを可能にしておく配慮が必要とされています。古くから「用と美」という言葉があるように、本学では、機能性と審美性を備えた、さりげなく、美しく、できる限り多くの人のアクセスを可能にするユニバーサルデザインを目指しています。



すべての人にやさしい、アクセシブルな自由空間。



音声でも誘導する案内サイン

案内サインは、大学カラーのブルーを基調に、日本語と英語で表示しています。点字案内板も学内11カ所に設置され、音による誘導も行っています。



段差を解消するスロープ

施設内の段差は、スロープ化することで解消。弾力のある滑りにくい素材を使用し、高さ75cmごとに踊り場を設けるなど、安全性にも配慮しています。



スムーズに通過できる広い出入り口

出入り口には、120cm以上の自動ドアを採用し、大ガラス面には衝突防止シールが貼られています。床には段差がなく、スムーズに出入りができます。



多機能型トイレとサイン

トイレの種類は、男女、親子・身障者の3種類。各々の違いを点字でも識別できるよう、入口には手をついた時に触れる高さに表示サインを設置しています。



水飲み場・自動販売機

水飲み場は、車椅子の方でも使いやすい形状で、高さも調整されています。また周辺には十分なスペースがあります。自動販売機にも、コイン投入口の形状など様々な工夫があります。



ゆったりとした廊下や階段

廊下も階段も幅が広く、ゆったりとすれ違えるよう設計されています。廊下は無駄な凹凸がなく、階段は踏み面を広くとり、勾配も緩やかです。

施設・設備紹介

緑と共生する都市型のキャンパスです。



出会いの広場
2階にありながら人工地盤により緑化された、学生と市民の憩いの広場。学生食堂、学生ラウンジ、講義室、図書館・情報センターなどへとつながる、大学の中心的スペースです。



創造の丘
浜松市内が一望できる屋上庭園は、まさに都会のオアシス。山の尾根、波のうねりを思わせる緩やかな起伏が印象的です。



図書館・情報センター



講堂



文化・芸術研究センター



ギャラリー



大講義室



体育館

工房紹介

より実践的な教育を実現する工房・各種機器が揃っています。



マルチメディア室 デジタルサウンドやゲーム等を作成・編集する。



クレイモデル室 クレイ(粘土)で大型モデルを制作する。



CAMモデル室 コンピュータを使い立体モデルを制作する。



グラフィックWS室 CG作品や映像作品を作成・編集する。



人体機能実験室 人間に関する種々のデータを計測する。



撮影スタジオ 制作中の作品や完成モデルを撮影する。

金属工房
鍛金・鍛造でモデルを制作する。

木彫工房
木工素材で作品を制作する。

ドライモデル室
デザイン検討用の初期モデルを制作する。

空間演出実験室
色彩・照明・音響が与える影響を検証する。

ガラス工房
ガラスの加工方法を学ぶための実習を行う。

陶芸工房
陶芸の実習や作品制作を行う。

デッサン室
基礎表現力を養うデッサンの実習を行う。

食品加工実験室
様々な食品の加工・試作を行う。

生物機能実験室
生物の形状、機能、動きなどを計測する。

テキスタイル工房
織物の実習や作品制作を行う。

製図室
ドラフター(製図器)を使い図面を作成する。

暗室
ネガフィルムの現像などを行う。

構造実験室
構造物の強度実験や空間想定を行う。

フィッティング工房
製品を使う人に合わせて加工・調整する。

電子制御機器製作室
電子回路や制御機器類の計測と製作を行う。

CG工房
ハイビジョン編集や実写合成など映像制作を行う。

平面工房
グラフィックデザインの実習を行う。

総合組立アトリエ
部品の組立てや大型造形物の制作を行う。

環境コントロール室
環境条件による人や製品への影響を計測する。

木材加工室
木工素材でモデルや作品を制作する。

立体工房
粘土・石膏でドライモデルを制作する。

塗装乾燥室
作品の塗装・乾燥・表面処理を行う。

金属加工室
金属素材で模型・作品を制作する。

プラスチック加工室
プラスチックでモデルを制作する。

ART WORK

アートワーク

出会いの広場のアートワーク
Transparent Doubts

出会いの広場に展示されたアートワーク。ガラスに囲まれた不思議な空間が、創造性をかき立てることから「瞑想ベンチ」の愛称で呼ばれています。artist: Jaume Plensa

創造の丘のアートワーク
Furnishing

大きさの異なる7つのベンチは、最大のもので高さ1.8m。日常の見なれた風景の中で意外な発見をすることへのインスピレーションを与えてくれます。artist: Ingés Idee

池の中のアートワーク
Apollo Plan

アンテナ、スピーカー、メガホンなど、情報交換の手段として使用される機器をモチーフにした作品。人々が交流する開かれたネットワークを象徴しています。artist: 真喜志 奈美

開かれた大学

時代の流れをいち早く反映した特色ある科目の設置、学ぶ意欲を持った社会人等の受け入れ、地域の人々への施設開放、そして、企業や国際社会との交流…。

静岡文化芸術大学は、「地域」「国際」「世代」など、あらゆる対象に向けて「開かれた大学」であり続けます。



地域との交流活動

地域社会へ、大学の教育とノウハウを提供していきます。共同研究や受託研究など産官学の連携を推進します。

生涯学習の場として

静岡文化芸術大学は、勉学の機会を拡げ、地域の皆さんの学習意欲、知的好奇心に応えられる生涯学習の場、「開かれた大学」でありたいと考えています。入学試験に合格し、正規学生として学んでいる社会人学生や、希望科目の単位修得を目指す科目等履修生、授業のみを受講する社会人聴講生など、多くの社会人の方が本学で学んでいます。

科目等履修生制度

科目等履修生とは、本学の授業科目(演習科目等の特定の科目を除く)を学生とともに履修し、試験等による評価を受けることで単位を修得できます。

社会人聴講生制度

授業科目(演習科目等の特定の科目を除く)を正規の学生と一緒に聴講することができます。試験等を受けることはなく、単位の修得はできません。

公開講座

市民を対象に、土・日を中心として、数多く開催しています。講座内容は本学の専門分野を活かしたものを設定。ものづくりやデッサンなどができる内容もあり、毎回好評を得ています。

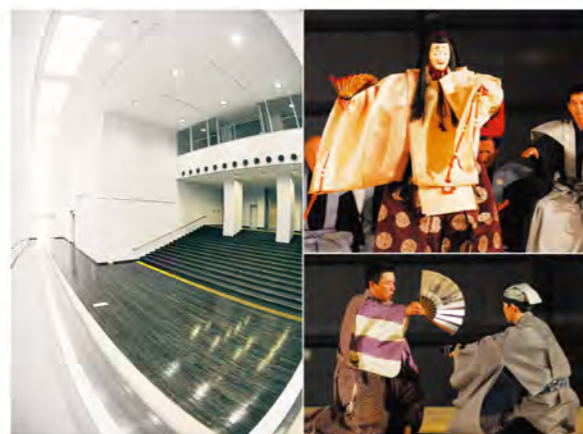
各種セミナー・文化事業

本学教員の研究成果を発表する文化芸術セミナーや「薪能」などのイベント等を開催し、地域の文化振興に寄与しています。

文化・芸術研究センター

両学部が連携して行っているさまざまな研究成果を発信し、地域社会との幅広い交流を図るため、附属機関として設置されているのが文化・芸術研究センターです。センターには、交流のための施設としてイベントホールやギャラリーがあります。

教員の専門知識・技能やネットワークを活かしての、公開講座や各種セミナーも、文化・芸術研究センターの事業のひとつです。その他にも、「薪能」などさまざまなイベントや企画展示を開催して地域への情報発信をしています。



地域社会への開放施設

ゆとりの教育の場として、地域社会に大学を開放しています。

図書館・情報センター

約21万冊の図書、約3,000種類の新聞・雑誌、約6,600点の視聴覚資料(CDやDVD等)を所蔵しています。利用者カードを作成すれば、所蔵資料(一部を除く)の貸出も可能です。

開室日	休館日
・授業期間(月～金) 9:00～20:00 ・春期・夏期などの休業期間 9:00～17:00 ・土曜日 10:00～16:00	・日曜日、国民の祝日 (振替休日も含む) ・年末年始 ・その他臨時休館日 (館内掲示板、ホームページ等でお知らせします。)
図書館・情報センター 連絡先 TEL. 053-457-6124 FAX. 053-457-6125 URL http://www.suac.ac.jp/library/	



自由創造工房

木工・金工・印刷・織物・パソコンによるグラフィックデザイン制作など、様々な制作・創作活動ができるスペースです。市民対象の公開講座も開催しています。



開室日	開室時間
原則として平日のみ(月～金)	9:00～18:00 (昼休み/12:00～13:00) ※利用方法などの詳細は事務局地域連携室までお問い合わせください。 TEL. 053-457-6105

学生食堂

北棟3階にある学生食堂(約300席)は、どなたでも利用することができます。日替定食、カレー、麺類など多彩なメニューをお楽しみください。



営業時間
11:00～14:00 ※大学休業期間などに時間変更や閉店することがあります。



大学施設案内…………… 学校、市民団体等を対象に施設案内を実施しています。詳しくは事務局企画室までお問い合わせください。(TEL.053-457-6113)

学生データ・学納金

学生データ

全国各地から集まる学生。
少人数教育によりきめ細かい指導を实践。

都道府県別出身地 (学部生)

(2014年4月1日現在)

静岡県内はもとより、北は北海道、南は九州・沖縄まで、全国各地から学生が集まっています。



本学の学生は全国各地から集まっています。また、海外からの留学生の受け入れにも積極的に取り組んでいます。指導にあたっては少人数制教育を基本に学生へのきめ細かい対応を実現。個々の能力アップに力を注いでいます。

在籍者数

(2014年4月1日現在)

学部	学科	1年生	2年生	3年生	4年生	全学
文化政策学部	国際文化	111	116	111	124	462
	文化政策	59	53	56	66	234
	芸術文化	57	56	54	68	235
	学部計	227	225	221	258	931
デザイン学部	生産造形	47	44	46	45	182
	メディア造形	35	36	35	44	150
	空間造形	34	37	33	40	144
	学部計	116	117	114	129	476
大学院	文化政策	7	9			16
	デザイン	12	13			25
	院計	19	22			41
総計		362	364	335	387	1,448

学納金

入学生に適用する学納金 (2015年度予定)

区分	県内の入学者	県外の入学者	摘要
入学金	141,000円	366,600円	入学時
授業料(年額)	535,800円		

※2015年度の学納金については変更となる場合があります。

学費支援体制

授業料の減免制度

経済的理由または天災等によって授業料の納入が著しく困難な場合に、授業料を減免する制度があります。

授業料の分割納入制度

授業料を一括して納入することが困難な場合には、申請により分割して納入することができます。

就職実績

幅広い分野、多彩な職種に、進出しています。

在学中にどれだけの付加価値をつけることができたかを判断される就職状況。一人ひとりの可能性を活かす静岡文化芸術大学の教育に対する社会の回答が、ここに現れています。

過去の就職先 (抜粋) 分野ごとに五十音順に記載

ハウジング・建設業

- 鈴木建設(株)
- セキスイハイム東海(株)
- (株)平成建設
- (株)ミサワホーム静岡

製造業

- ASTI(株)
- アスモ(株)
- (株)アブライズ
- SUS(株)
- (株)エフシーシー
- エンケイ(株)
- オオセキ写真印刷(株)
- (株)河合楽器製作所
- 共和レザー(株)
- (株)小糸製作所
- (株)シャンソン化粧品
- スズキ(株)
- スター精密(株)
- 静甲(株)
- ソフトバンクモバイル(株)
- 中部印刷(株)
- トヨタ自動車(株)
- 日産電気(株)
- 浜名湖電機(株)
- 浜松ホトニクス(株)
- 林テレンプ(株)
- 富士精工(株)
- 矢崎総業(株)
- (株)ヤタロー
- ヤマハ(株)
- ヤマハ発動機(株)
- ヤマハモーターエレクトロニクス(株)
- ヤマハモーターパワープログラミング(株)
- ヤマハリビングテック(株)
- (株)ユタカ技研
- ローランド(株)
- ローランドディージー(株)
- (株)ROKI

運輸・旅行業

- 伊豆箱根鉄道(株)
- ANAエアサービス東京

(株)エイチ・アイ・エス(H.I.S.)

- 遠州鉄道(株)
- (株)遠鉄トラベル
- 近畿日本ツーリスト(株)
- 瀬池運輸(株)
- (株)JR東海ツアーズ
- (株)JT日中部
- 静岡鉄道(株)
- 鈴木(株)
- 全日本空輸(株)(ANA)
- 東海旅客鉄道(株)(JR東海)
- 福山通運(株)

電気・ガス・水道業

- 静岡ガス(株)
- 中部ガス(株)

卸売・小売業

- (株)安心堂
- (株)大丸松坂屋百貨店
- 協和医科器械(株)
- (株)静岡伊勢丹
- 資生堂販売(株)
- (株)スクロール
- 鈴木商事(株)
- (株)東急ハンズ
- 日鏡商事(株)
- (株)ハ神製作所
- (株)ヤマミュージック東海
- ユニー(株)
- リコージャパン(株)

金融・保険業

- 静岡信用金庫
- 遠州信用金庫
- 岡三証券(株)
- 掛川信用金庫
- 静岡信用金庫
- JAあいち中央
- JA遠州中央
- JA遠州中央
- JA大井川
- JA静岡経済連
- JA静岡市
- JAしみず

金融・保険業

- (株)システック
- (株)シバックス・デスモ
- シモノ(株)
- シャープ(株)
- (株)シャンソン化粧品
- (株)杉山メディアサポート
- スズキ(株)
- (株)鈴木楽器製作所
- スタンレー電気(株)
- セイコーエプソン(株)
- (株)ダイマツ
- 大洋(株)
- (株)ツノダ
- 中部印刷(株)
- デコラテックジャパン(株)
- 東芝テック(株)
- TOTOバスクリエイト(株)
- トヨタ自動車東日本(株)
- (株)豊田自動織機
- トヨタ車体(株)
- (株)日本カラーエンジニアーズ
- 羽立工業(株)
- 林テレンプ(株)
- (株)日立製作所
- 富士重工業(株)
- 富士ゼロックス(株)
- ブラザー工業(株)
- プラス(株)
- プリチンサイクル(株)
- (株)本田技術研究所
- (株)マキタ
- マツダ(株)
- 三菱自動車工業(株)
- メカロ化工(株)
- キヤノン(株)
- 矢崎化工(株)
- (株)ヤタロー
- (株)オムニバス・ジャパン
- ヤマハ(株)
- ヤマハ発動機(株)
- 豊ハイテック(株)
- レック(株)
- ローランドディージー(株)

JAとびあ浜松

- 静岡銀行
- 静岡信用保証協会
- 静岡信用金庫
- しずおか信用金庫
- (株)静岡中央銀行
- 静岡ビジネスクリエイト(株)
- 島田信用金庫
- 清水銀行
- (株)商工組合中央金庫
- 第一生命保険(株)
- 日本生命保険(相)
- 日本銀行
- 浜松信用金庫
- 三島信用金庫
- 明治安田生命保険(相)
- 焼津信用金庫
- (株)ゆうちょ銀行

放送・広告業

- (株)エイエビー
- SBSプロモーション
- (株)静岡朝日テレビ
- (株)静岡新聞社
- 静岡朝日放送
- テレビ静岡システムクリエイツ(株)
- (株)ヤマミュージック東海
- ユニー(株)
- リコージャパン(株)

その他サービス業

- (株)出雲屋
- (株)エス・ティ・ティ・ドコモ
- 遠鉄観光開発(株)
- (株)オークラ外シティホテル浜松
- (株)オリエンタルランド
- 刈谷豊田総合病院
- (株)クレステック
- (株)秀英予備校
- (株)ステージグループ
- デジタルハリウッド(株)
- (株)ドリームプラザ
- (株)日本シタサービス

浜松・東三河フェニックス

- (株)日立ソリューションズ
- ホテルセンチュリー静岡
- ヤマハ発動機マネジメントサービス(株)
- ヤマハモーターソリューション(株)
- 日本郵便(株)
- (株)ラビアンローゼ

文化施設・団体等

- 静岡市香りの博物館
- (公財)佐野美術館
- 四季(株)
- (一財)静岡県交通安全協会
- (公財)静岡県文化財団
- 静岡市市町村職員共済組合
- (公財)食品農薬医薬品安全性評価センター
- (株)宝塚舞台
- (株)天竜厚生会
- (公財)豊橋文化振興財団
- 日本赤十字社 静岡県支部
- (公財)浜松市文化振興財団
- 浜松商工会議所
- (公財)浜松市芸術文化振興財団

公務

- 静岡市役所
- 御前崎市役所
- 国立大学法人職員
- 御殿場市役所
- 静岡県警察本部
- 静岡県立学校教員
- 静岡県庁
- 静岡市役所
- 豊島区役所
- 沼津市役所
- 浜松市役所
- 浜松市立学校教員
- 袋井市役所
- 富士市役所
- 三島市役所
- 焼津市役所

ハウジング・建設業

- アサヒハウス工業(株)
- (株)一栄工務店
- 片瀬建設(株)
- (株)クラスト
- KONOIKE Co.(株)
- サーラ住宅(株)
- 住友林業(株)
- (株)須山建設
- セキスイハイム東海(株)
- 積水ハウス(株)
- (株)大成住宅
- (株)中村組
- (株)平成建設
- 丸西建設(株)
- (株)ミサワホーム静岡
- 三井ホーム(株)
- 良知樹園(株)
- (株)レオパレス

製造業

- アイリスオーヤマ(株)
- アズマ工業(株)
- (株)アツミテック
- (株)アブライズ
- いすゞ自動車(株)
- (株)イトーキ
- (株)エム・ケー・マエダ家具
- エンケイ(株)
- オオセキ写真印刷(株)
- オカモト(株)
- カイインダストリーズ(株)
- 柏木工(株)
- (株)河合楽器製作所
- キヤノン(株)
- 共和レザー(株)
- 起立木工(株)
- (株)クボタ
- (株)ケイウノ
- コクヨ(株)
- サンスター文具(株)
- サンワサプライ(株)

(株)コガ建築設計室

- (株)SAVAVAY
- (株)シーエムエー
- (株)GKインダストリアルデザイン
- (株)GKダイナミクス
- (株)シーボート
- (株)ziba tokyo
- (株)ジー・コミュニケーション
- (株)総合設計事務所
- (株)ダッド
- (株)テクノサイト
- トランスコスモス(株)
- (株)ナウハウス
- (株)ナブラ
- 日本情報産業(株)
- 長谷守建築設計
- 掛川市役所
- 航空自衛隊
- 静岡県警察本部
- (株)フジヤマ
- (株)アルミアージュンシー
- (株)プロフィット
- ポリゴンマジック(株)

その他サービス業

- ヤマハモーターエンジニアリング(株)
- (株)エークス
- (株)ランドマック
- (株)ワイケデザインリンク
- 静岡商工会議所
- (株)ジー・コミュニケーション
- (公財)静岡市文化振興財団
- (株)teable
- テクノリサーチ(株)
- 名古屋社会福祉協議会

公務

- 愛知県警察本部
- 愛知県立学校教員
- 掛川市役所
- 静岡県警察本部
- 静岡市役所
- 豊橋市役所
- 浜松市役所
- 碧南市小学校教員

卸売・小売業

- アップルハウス(株)あぶら
- (株)シーエムエー
- (株)大塚家具
- オルビス(株)
- (株)カフシマ・ゴールド
- (株)サンレーショッピングクラブ
- シーラック(株)
- シャディ(株)
- (株)千鳥会
- 日産プロシエ静岡販売(株)
- 日豊資材(株)
- ホダカ(株)
- 本多プラス(株)

金融・保険業

- JAとびあ浜松
- 日本生命保険(相)
- 焼津信用金庫

放送・広告業

- (株)朝日メディアブレン
- (株)エイエビー
- (株)クロステレビ
- コスタ(株)
- 静岡エフエム放送(株)
- (株)静岡新聞社
- (株)情報室プロダクツ
- (株)メディア東京

情報・専門サービス業

- (株)アドウィル
- (株)アレフ・ゼロ
- (株)AIR FRAME
- MGS照明設計事務所
- オーエム計画(株)
- (株)オーブスマイル
- (株)オムニバス・ジャパン
- (株)カブコン
- (株)川口建築都市設計事務所
- (株)京都アニメーション
- (株)クレオ
- (株)クロスデバイス

※上記企業以外にも、多数の企業・団体等から内定をいただいております。なお、各社の業種別への分類は本学の分類によるものです。

学生データ・学納金 就職実績

019 | SJUAC

SJUAC | 020

役員・教員等一覧

法人役員等一覧 2014年6月1日現在

理事	理事長 有馬 朗人 元文部大臣	副理事長 熊倉 功夫 静岡文化芸術大学学長	理事(総務担当) 伊熊 元則 前静岡県くらし・環境部長	
		理事(教育研究担当) 山本 幸司 静岡文化芸術大学名誉教授	理事(学術・国際交流担当) 松井 孝典 千葉工業大学惑星探査研究センター所長	
監事	上島 清介 元ヤマハ(株)相談役	杉本 浩利 (株)静岡銀行常務執行役員 西部カンパニー長		
経営審議会委員	有馬 朗人 公立大学法人静岡文化芸術大学 理事長	熊倉 功夫 公立大学法人静岡文化芸術大学 副理事長・学長	伊熊 元則 公立大学法人静岡文化芸術大学 理事(総務担当)	
	松井 孝典 公立大学法人静岡文化芸術大学 理事(学術・国際交流担当)	木宮 久 公立大学法人静岡文化芸術大学 事務局長	山本 幸司 公立大学法人静岡文化芸術大学 理事(教育研究担当)	
	鈴木 俊宏 スズキ(株)代表取締役副社長	鈴木 康友 浜松市長	遠藤 芳伸 元鈴与(株)相談役	
			大須賀 正孝 浜松商工会議所会頭	
教育研究 審議会委員	熊倉 功夫 静岡文化芸術大学 学長	伊熊 元則 公立大学法人静岡文化芸術大学 理事(総務担当)	山本 幸司 公立大学法人静岡文化芸術大学 理事(教育研究担当)	高田 和文 静岡文化芸術大学副学長 文化・芸術研究センター長
	根本 敏行 静岡文化芸術大学 文化政策学部長	海野 敏夫 静岡文化芸術大学 デザイン学部長	片山 泰輔 静岡文化芸術大学 文化政策研究科長	宮田 圭介 静岡文化芸術大学 デザイン研究科長
	池上 重弘 静岡文化芸術大学 教務部長	片桐 弥生 静岡文化芸術大学 学生部長	望月 達也 静岡文化芸術大学 進路部長	黒田 宏治 静岡文化芸術大学 図書館・情報センター長
	下澤 嶽 静岡文化芸術大学 文化政策学部国際文化学科長	森 俊太 静岡文化芸術大学 文化政策学部文化政策学科長	谷川 真美 静岡文化芸術大学 文化政策学部芸術文化学科長	迫 秀樹 静岡文化芸術大学 デザイン学部生産造形学科長
	的場 ひろし 静岡文化芸術大学 デザイン学部メディア造形学科長	寒竹 伸一 静岡文化芸術大学 デザイン学部空間造形学科長	木宮 久 静岡文化芸術大学 事務局長	鳥居 春仁 静岡県高等学校長協会 会長
	鍋倉 伸子 (社)大学女性協会静岡支部 役員			
顧問	鈴木 善彦 前公立大学法人静岡文化芸術大学理事			
参 与	安倍 徹 静岡県教育委員会 教育長	市川 厚 沼津商工会議所会頭 石川建材工業(株)相談役	市川 静子 静岡文化芸術大学同窓会 副会長	太田 康隆 浜松市議会 議長
	木苗 直秀 静岡県立大学 学長	後藤 康雄 静岡商工会議所会頭 はごろもフーズ(株)代表取締役会長	佐藤 修造 (株)中日新聞東海本社 代表	鈴木 壽美子 静岡県文化協会会長
	高畑 啓子 株式会社あぶち 株式会社アップルハウス代表	只井 保 大阪静岡県人会会長 (株)藤原代表取締役	立花 裕澄 静岡県文化芸術大学後援会会長	錦織 淑子 元(社)国際女性教育振興会 会長
	長谷川 逸子 長谷川逸子建築計画工房 主宰	長谷川 正榮 静岡県取用委員会委員	服部 泰啓 静岡県私学協会会長	藤田 弘道 東京静岡県人会会長 凸版印刷(株)相談役
	前澤 侑 静岡県商工会連合会会長 ニッシン開発(株)代表取締役社長	松井 純 (株)静岡新聞社 取締役会長	渡邊 妙子 (公財)佐野美術館 館長	

専任教員一覧 2014年度在籍教員

学長 熊倉 功夫 副学長 高田 和文[※](芸術文化学科教授/文化・芸術研究センター長)

文化政策学部 ※大学院兼任

国際文化学科	学科長/教授 下澤 嶽 [※]	教務部長/教授 池上 重弘 [※]	英語・中国語教育センター長/教授 横田 秀樹	教授 石川 清子	教授 磯田 道史
	教授 林 在圭	教授 岡田 建志	教授 鈴木 元子	教授 瀬戸 知也	教授 永井 敦子
	教授 西田 かほる	教授 馬場 孝	教授 美濃部 京子	准教授 イシカワエウニセアケミ [※]	准教授 Jack Ryan
	准教授 高木 邦子	准教授 武田 好	准教授 徳増 克己	准教授 二本松 康宏	准教授 広瀬 英史
准教授 溝口 紀子	准教授 兪 嶸	講師 崔 学松			
英語・中国語 教育センター	特任講師 Edward Sarich	特任講師 Steven J. Martin	特任講師 高瀬 奈美	特任講師 羅 沢宇	
文化政策学科	学科長/教授 森 俊太 [※]	教授 赤井 朱美 [※]	教授 阿蘇 裕矢	教授 田中 啓 [※]	教授 野村 卓志
	教授 林 左和子	教授 米屋 武文	准教授 加藤 裕治 [※]	准教授 小杉 大輔	准教授 鈴木 浩孝 [※]
	准教授 森山 一郎 [※]	准教授 四方田 雅史 [※]	講師 船戸 修一		
芸術文化学科	学科長/教授 谷川 真美 [※]	大学院・文化政策研究科長/教授 片山 泰輔 [※]	学生部長/教授 片桐 弥生	教授 梅田 英春	教授 梅若 猶彦
	教授 小針 由紀隆	教授 松本 茂章 [※]	准教授 奥中 康人 [※]	准教授 立入 正之	准教授 永井 聡子 [※]
	講師 上山 典子 [※]	講師 高島 知佐子 [※]	講師 中村 美帆		

デザイン学部 ※大学院兼任

生産造形学科	学科長/教授 迫 秀樹 [※]	図書館・情報センター長/教授 黒田 宏治 [※]	教授 伊豆 裕一 [※]	教授 磯村 克郎 [※]	教授 佐井 国夫 [※]
	教授 田邊 英隆	教授 谷川 憲司	教授 峯 郁郎	教授 山本 一樹 [※]	准教授 高山 靖子
メディア造形学科	准教授 永山 広樹	准教授 服部 守悦			
	学科長/教授 的場 ひろし [※]	大学院・デザイン研究科長/教授 宮田 圭介 [※]	進路部長/教授 望月 達也 [※]	教授 佐藤 聖徳	教授 長嶋 洋一 [※]
空間造形学科	教授 羽田 隆志	教授 古田 祐司 [※]	准教授 日比谷 憲彦	准教授 和田 和美 [※]	
	学科長/教授 寒竹 伸一 [※]	教授 花澤 信太郎	准教授 小浜 朋子	准教授 中山 定雄	准教授 深田 てるみ
	講師 天内 大樹	講師 亀井 暁子	講師 中野 民雄		



公立大学法人

静岡文化芸術大学

<http://www.suac.ac.jp/>

〒430-8533 静岡県浜松市中区中央2-1-1

TEL 053-457-6111 FAX 053-457-6123

- JR浜松駅より徒歩15分
- 遠州鉄道／「遠州病院駅」下車、徒歩8分
- 遠鉄バス／浜松駅北口バスターミナル10番のりば
→バス停「文化芸術大学」下車
- 循環まちバス く・る・る「まちなか東ループ」／
浜松駅北口バスターミナル12番のりば
→バス停「文化芸大」下車